

市政を問う!

3月定例会では14人の議員が質問しました。

各会派の人数に応じて紙面の割り付けを行っています。ここでは紙面の関係でその一部を要約して掲載しています。

やちまた21

代表
質問
押尾 巖
小澤 定明
会嶋 誠治
山本 正美
加藤 弘

新年度予算

問 自主自立都市を目指す八街市の創造のために、新年度予算は、どのような位置づけにあるのか。

市長 ふるさとを守り育て、活力や文化の薫りに満ちた、心安らく街づくりを市民と行政の協働により進めていく諸施策を確実に効果的に進めることにより、地域の活性化が図られ、活力を生み、豊かで潤いのある地域社会を実現していきます。

農業振興

問 本市の農業の活性化とその充実が本市の発展そのものであり、その農業振興対策を強く望むものであるが、新年度における農業振興への取り組みとして、①基盤整備事業への支援策は



北総中央用水貯水水槽（滝台）

どうか。②JAいんば等への支援対策はどうか。③農業後継者育成への支援はどうか。④農業と市民とのふれあい充実並びに地産地消の推進はどうか。

市長 1点目の基盤整備事業への支援は、生産性等の向上を図ることを目的とした機械化、施設化の強化を図る「園芸王国ちは」強化支援事業の実施や、生産基盤である農地の高度利用ができるよう北総中央用水土地改良事業を積極的に推進します。2点目のJAいんば等への支援対策は、平成19年度においては「グリーンやちまた」の選果ラインの機能向上を図るため、国庫事業の活用を計画しており、現在その準備作業を進めています。

▶グリーンやちまた（六区）



3点目の農業後継者育成への支援策は、認定農業者に対し、生産の安定化・省力化を目的として、パイプハウス・収穫機等の整備に対する補助事業を積極的に推進するほか、農業者の資金通の円滑化を図るため、制度資金の利子の一部を助成しています。

4点目の農業と市民とのふれあい充実並びに地産地消の推進は、本市の酒米組合では、市民を対象とした酒米の田植え体験を開催しています。

榎戸駅周辺整備の促進

問 榎戸駅北側新設口の早期完成を望むが、見通しはどうか。

市長 改札口の新設については、以前からJR千葉支社に要望を続けており、さらに千葉県JR線複線化等促進期成同盟においても、総武本線沿線市町が一体となり、JRに対して各種の要望活動を実施しています。引き続きJR側への交渉、要望をより積極的に進めていきます。

個人質問 加藤 弘

高齢者・障がい者への福祉の充実

問 高齢者・障がい者福祉サービスにおける質の高い・利用者満足度の高いサ

ービス提供にどのように取り組まれているのか。

市長 高齢者の福祉サービスは、介護保険制度の改正により、予防重視型システムへの転換をはじめとした全体的な改革が始まり、利用者の立場に立った支援を目指すことが重要です。近隣住民や専門機関等と連携した協働のアプローチができるようなネットワーク作りを目指して取り組んでいきます。

障がいを持つ方への福祉サービス提供については、障がい者自立支援法の施行により、身体・知的・精神の3障がいについてサービス提供の一元化や、新たな障がい程度区分の導入による公平なサービスの利用のための基準の明確化など障がい福祉サービスのあり方が大きく改められました。障がいを持つ方への施策は、保健・医療・福祉・教育・就労・生活環境など、あらゆる分野、領域にわたっていることから、各分野における連携や調整の強化が重要な課題であり、関連する分野の関係者で組織する地域自立支援協議会の設立に向け、現在準備を進め